



身延町観光振興ビジョン



身延町観光協議会・身延町

令和7年1月

目次

第1章 はじめに

- 1.1 身延町観光振興ビジョン策定の背景 1
- 1.2 身延町観光振興ビジョンの位置づけ 1

第2章 身延町の観光の現状と課題

- 2.1 身延町の観光を取り巻く現状 2
- 2.2 身延町の観光振興に向けた取組課題 5

第3章 身延町の観光の目指す方向性

- 3.1 観光振興の理念と将来像 6
- 3.2 基本方針及び観光振興の取組の方向性 7

第4章 推進体制と進捗管理方法

- 4.1 推進体制 14
- 4.2 進捗管理方法 15

【参考】身延町観光振興ビジョン策定委員会 16

【参考】身延町の主な観光資源 17

第1章 はじめに

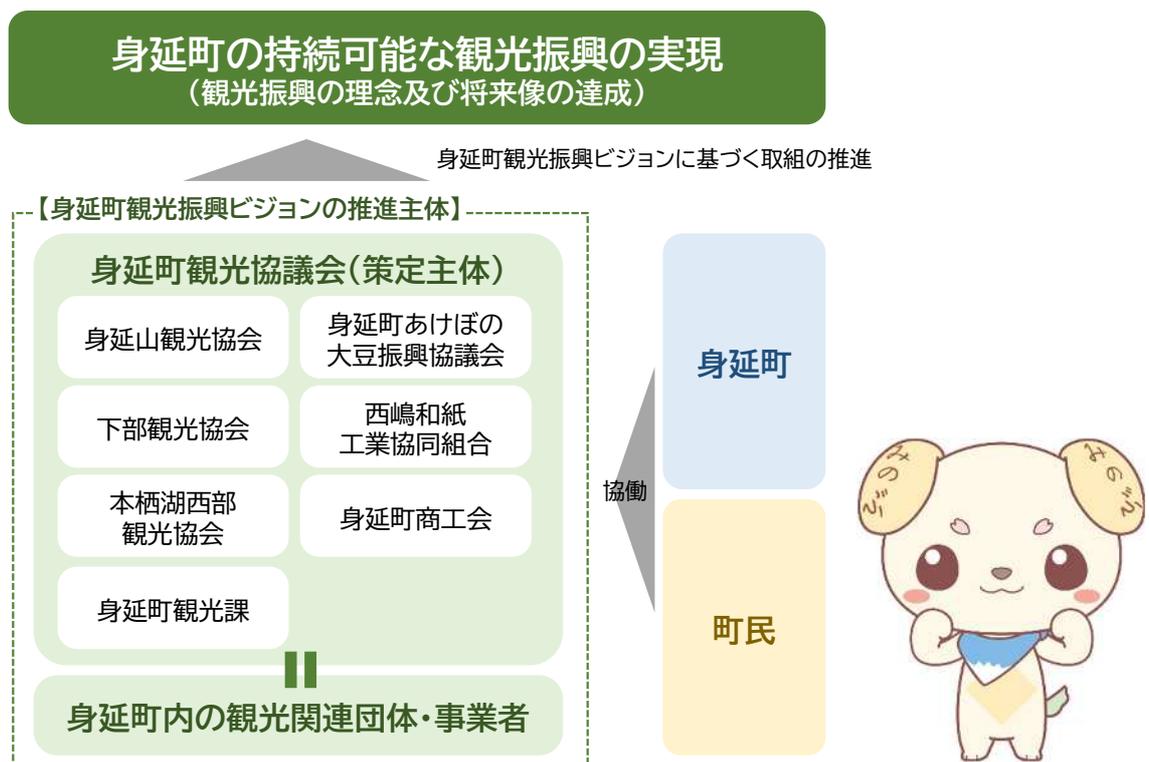
1.1 身延町観光振興ビジョン策定の背景

身延町では、平成28年に「身延町観光振興ビジョン(計画期間:平成28年度～令和2年度)」を改定し、町民、観光関連団体・事業者、行政等が一体となり、「オール身延」で観光立町を目指す取組が推進されてきた。身延町観光協議会をはじめとする観光関連団体・事業者間のネットワーク形成や、地域特産品を活かした商品開発、アニメツーリズムの推進等、身延町観光振興ビジョンに基づく様々な取組を実施し、観光振興に向けた着実な成果を挙げてきたところである。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行や中部横断自動車道(南部区間)の全線開通等、社会情勢の変化を受けて、観光を取り巻く状況も大きく変化しており、今後の観光振興に向けた取組に関しては、地域の実情を踏まえた見直しが求められている。そこで、今後も身延町における観光施策を総合的かつ計画的に推進するため、身延町観光協議会が主体となり、新たな「身延町観光振興ビジョン」を策定する。

1.2 身延町観光振興ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、身延町の持続可能な観光振興を実現するため、身延町観光協議会及び観光関連団体・事業者が主体となって地域特性を活かした観光まちづくりを推進するための指針となるものである。身延町観光協議会及び観光関連団体・事業者は、適宜身延町と連携を図りつつ、本ビジョンに基づき着実な観光振興の取組の実施に努めることとする。なお、計画期間は5年間(令和7年度～令和11年度)とし、状況に応じて修正を行うものとする。



第2章 身延町の観光の現状と課題

2.1 身延町の観光を取り巻く現状

(1) 身延町の観光を取り巻く外部環境

- 全国、山梨県、峡南地域、身延町いずれにおいても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年・3年は観光客が大幅に減少したが、令和4年以降は回復傾向にある。
⇒ただし、身延町の回復率は全国、山梨県と比べ、緩やかな傾向。
- 圏域別の観光客数に着目すると、山梨県を訪れる観光客の44.4%が富士・東部圏域に集中しており、身延町の属する峡南圏域を訪れる観光客は全体の7.0%にとどまっている。
- 令和3年の中部横断自動車道(南部区間)全線開通による移動時間の短縮や、身延町を含む峡南地域を舞台としたアニメを契機としたアニメツーリズムの活性化、全国的なインバウンド需要の回復と地方誘客への機運の高まり、観光DX化の推進等、身延町の観光を巡る情勢は近年大きく変化している。

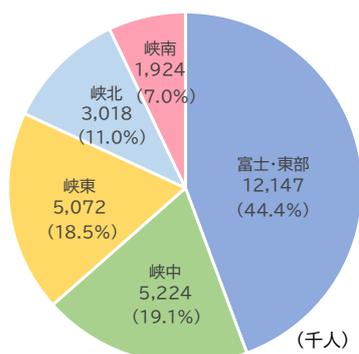


図1.圏域別観光入込客数(令和4年)



図2.身延町の観光入込客数の推移

(出典:山梨県「山梨県観光入込客統計調査結果」)

(2) 身延町を訪れる観光客の動向

- 峡南地域を訪れる来訪者の居住地としては、山梨県その他、静岡県や東京都、神奈川県、埼玉県等が多い。幅広い年代の来訪があるが、50代～60代の来訪がやや多い傾向にある。
- 峡南地域滞在中の訪問先や宿泊先は、「身延町」が多い。
- 峡南地域での滞在時間は「日帰り」が約7割を占め、滞在時間は短い傾向にある。身延町においても、半日程度の短期滞在が多い傾向にある。
- 身延町への来訪は、長期休暇のある5月・8月が多く、冬季(特に2月)の来訪者が少ない傾向。
- 観光客1人あたりの観光消費額について全国と峡南地域を比較すると、日帰り客、宿泊客ともに峡南地域における観光客1人あたりの観光消費額の方が低い傾向にある。
- 峡南地域への来訪が2回目以上のリピーターが約7割を占めている。なお、来訪者の9割以上が滞在に満足し、再訪意向を示している。

(出典:富士川地域観光振興協議会「観光市場分析調査」、マチェレポ分析結果)

(3)観光関連団体・事業者の意識

【10年後の身延町の観光のあるべき姿】

- 「信仰を身近に感じることができる」、「憩い・安らぎ・癒し」、「心身ともに健康になれる」、「リピートしてもらおう」、「良いものが残り、新しいものが生まれる」、「周遊滞在型観光」といったキーワードが見られた。

【あるべき姿を実現するために必要なこと、問題意識】

- 受入環境整備や観光コンテンツの充実、観光振興を推進する人材の確保や体制の構築・強化、住民の意識醸成、情報発信・プロモーションの強化等に関する意見が多くあった。

【身延町の観光の強み・特徴(大切にしたい資源、観光客にアピールしたいこと)】

- 「身延山久遠寺に関連する信仰の歴史文化」や「豊かな自然」、「癒しを感じることでできる多様な資源」、「あけぼの大豆や西嶋和紙等の魅力的な特産品」、「下部温泉の優れた効能」、「四季折々の景観」等に関する意見が多かった。

【身延町の観光の弱み(今後数年間で解決すべき課題)】

- 「二次交通の脆弱性」や「地域内の連携不足」、「認知度の低さ」、「後継者不足・人材不足」、「飲食機能の不足、食のバリエーション不足」、「空き店舗の増加、店舗の少なさ」等に関する意見が多かった。

【町の観光振興全般に対するご意見】

- 「目指すべき方向性の確立及び、それに対する関係者の共通認識を形成した上で、地域一体となって取組を推進することの重要性」等について言及があった。

(出典:身延町内の観光事業者等へのアンケート調査結果(令和6年7月実施))

※各種調査の結果は、参考資料を参照



(4)身延町の観光の現状(強み・弱み・機会・脅威)

<p>S (強み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本仏教三大霊山のひとつ日蓮宗総本山「<u>身延山久遠寺</u>」という、全国的にも類稀なる資源を有する。<u>信仰の文化は当地域を象徴する固有の特徴</u>。 ・東日本最大規模の宿坊群を有する。 ・1300年の歴史を有する「<u>下部温泉</u>」をはじめ、<u>心身の癒しを感じることのできる資源が豊富</u>。 ・「本栖湖」や「富士川」、「しだれ桜」、「ホテル」等、<u>豊かな自然や景観に恵まれている</u>。 ⇒クラフトパークの約5,200本のしだれ桜や身延山久遠寺のしだれ桜等、全国有数の桜の名所であり、春には全国から多数の観光客を獲得している。 ・「あけぼの大豆」や「ゆば」、「みのぶまんじゅう」等、<u>特徴的な食資源が豊富</u>。 ⇒特に、あけぼの大豆は、GIを取得したこと、平成28年頃より生産量が1.5倍に増加し販路が拡大したことで認知度が高まっている。 ・「西嶋和紙」や「印章」等、伝統産業がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な<u>インバウンド需要の回復と地方誘客への機運の高まり</u>。 ・<u>中部横断自動車道の開通に伴う自動車アクセスの改善</u>(関東圏・中京圏からの来訪者増加)。 ・<u>峡南地域を舞台とするアニメを契機としたアニメツーリズムの活性化</u>。 ・<u>仏教文化を背景とする植物性の食文化</u>は、ベジタリアンやヴィーガン等、食の多様性への対応が可能のため、今後増加が想定される<u>インバウンドや食に対する意識の高い層の受入において有利と期待</u>。 ・あけぼの大豆の味噌加工工場が整備されたことで、今後さらに生産量が増え販路拡大による認知度が期待できる。 ・近年、一部では民間事業者が連携したイベント開催や商品開発の動きが見られ、<u>地域内で事業者が連携した観光振興の動きが生まれつつある</u>。 	<p>O (機会)</p>
<p>W (弱み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県を訪れる観光客の中で、身延町を含む峡南地域への来訪者は非常に少ない。 ・日帰り観光客が多く、<u>滞在時間が短いため消費額が伸びない</u>。 ・少子高齢化、人口減少に伴う<u>観光人材の不足、後継者の不在</u>。 ・<u>地域内の連携不足</u>。 ・<u>二次交通の脆弱性</u>。 ・<u>飲食店、宿泊施設の不足</u>。 ・空き家、空き店舗の増加。 ・インバウンド対応(多言語・キャッシュレス等)が遅れており、<u>インバウンドの誘客が進んでいない</u>。 ・全国に誇ることができる水準の観光資源を有するものの、<u>認知度が低い</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来は高齢の団体客が多かったが、旅行形態が団体旅行から個人旅行へシフトしたことや、高齢者層の世代交代が進みつつあることから、<u>既存顧客層が減少傾向</u>。 ・新型コロナウイルス感染症の流行を契機に観光産業を取り巻く環境が大きく変化したように、今後も社会情勢や自然災害等により大きな影響を受けることが想定され、<u>時代の変化に柔軟に対応できなければ、観光産業は衰退が加速する恐れがある</u>。 ・全国的に観光DXが進んでいない状況にはあるが、身延町でも観光サービスのデジタル化が遅れており、<u>今後全国の観光DX化が加速した場合、相対的に遅れをとる可能性がある</u>。 	<p>T (脅威)</p>



2.2 身延町の観光振興に向けた取組課題

■課題 1:特徴的な地域資源を有効活用した体験・滞在型観光の推進

- 身延町には、身延山久遠寺や下部温泉、本栖湖、しだれ桜、西嶋和紙、あけぼの大豆、ゆば等、歴史・文化から自然・景観、伝統工芸、食に至るまで、魅力的な地域資源が多数存在する。
- 全国各地で観光振興の取組が推進される中、他地域との差別化を図り、観光客を獲得するためには身延町の特徴を最大限に活かす必要がある。また、観光による地域経済の活性化が期待される中、観光消費額を高めるためには、地域における滞在時間を増やす必要があり、身延町ならではの特徴的な地域資源を活かした体験・滞在型観光の推進が求められる。

■課題 2:地域ブランドの確立とプロモーションの強化

- 全国に誇るべき地域資源が多数存在するにも関わらず、身延町の魅力や価値が十分に認知されていない現状がある。特に、「心身の癒し」を感じることができる資源が豊富にあるという点は、身延町の特徴であり、それらを活かした地域ブランドの確立は、他地域との差別化につながると考えられる。
- 地域ブランドを定着させ、唯一無二の滞在価値を提供する地域として、全国的・世界的な認知度を獲得するため、ブランドコンセプトに立脚したプロモーションを強化することが求められる。

■課題 3:安心・安全・快適に滞在できる環境の整備

- 観光客の満足度を高め、リピーターの創出による安定的な観光需要を獲得するためには、高付加価値な受入環境を整えることが不可欠である。
- 今後も増加が見込まれるインバウンドに対しても、安心・安全・快適に滞在いただけるよう受入環境整備(情報案内、移動手段等)を着実に進める必要がある。

■課題 4:地域が一体となった受入体制の構築・強化

- 観光振興を推進する上では、町民や観光関連団体・事業者、行政が連携し、地域一体となって観光地づくりに取り組むことが不可欠である。
- また、歴史的・地理的つながりのある峡南地域や富士北麓地域、中部横断自動車道沿線地域と連携し、周辺地域が一体となった観光振興推進体制を構築することで、さらなる滞在時間の延長や誘客力の向上を目指すことが望ましい。

■課題 5:持続可能な観光の仕組みづくり

- 身延町の魅力が広く認知され、観光振興が実現することは望ましい。一方で、無秩序な観光客の誘致は、地域の魅力や価値の棄損につながる懸念がある。身延町の地域資源の本質的価値を守り、将来世代につないでいくためには、持続可能な観光の仕組みづくりが不可欠である。
- また、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に観光産業を取り巻く環境が大きく変化したように、今後も社会情勢や自然災害等により観光産業を取り巻く状況は常に変化していくことが想定される。そのような状況においても、「環境」・「経済」・「社会」のバランスを担保しつつ、時代の変化に柔軟に対応した観光地経営が必要である。

第3章 身延町の観光の目指す方向性

3.1 観光振興の理念と将来像

(1) 観光振興の理念

こころ からだ さと 精神を高め、身体を癒す、安らぎの郷「身延」

～古き良き地域特性を守り、新しき時流を受け入れる、持続可能な観光地づくり～

- 身延山久遠寺を中心とする信仰の歴史・文化や、本栖湖をはじめとする豊かな自然・景観、西嶋和紙や印章等の伝統産業との触れ合いは、来訪者の『精神を高め』、下部温泉やあけぼの大豆・ゆば等の身体に優しい食資源は『身体を癒し』、明日への活力を与えるものである。「“身”体(命)を“延”ばす」という町名にふさわしい、心身ともに安らぎを与える観光地を目指す。
- 古くから大切に守られてきた歴史・文化、自然・景観、伝統産業を有効活用しつつ、将来世代へ継承するとともに、新たな地域振興の取組を柔軟に受け入れることで、身延町の個性を活かしつつ、時代に適応した観光地を目指す。
- 高付加価値な受入環境を整え、観光客の満足度を高めることで、滞在時間の延長や繰り返しの来訪を促し、消費額の拡大や安定的な誘客を図り、地域の受入負荷が小さい持続可能な観光地を目指す。世界に誇る観光地を形成することで、住民の地域への愛着醸成にも寄与する。

(2) 観光振興の将来像

- 身延町が誇る特徴的な地域資源を有効活用し、身延町ならではの体験・滞在型観光を提供している。
- 「安らぎの聖地＝身延」という認知が広く定着し、「心身の安らぎ」を求め、世界中から観光客が繰り返し訪れている。
- 町民や観光関連団体・事業者、行政等が連携し、多様な特色を有するエリア間が相互に誘客促進を図ることで、地域一体となった周遊・滞在型観光地を形成している。
- 観光客の満足度を高めるための高付加価値な環境がソフト面・ハード面で整えられているとともに、適切な受入管理により地域資源の保全が担保され、持続可能な観光地の仕組みが整えられている。また、地域振興に向けた新たな取組を後押しする風土が根付き、常に時代に適応した観光地経営がなされている。
- これらの取組により、町民が誇りや豊かさを実感できる観光まちづくりが実現されている。



3.2基本方針及び観光振興の取組の方向性

(1)観光振興の理念と将来像の実現に向けた基本方針と観光振興の取組の方向性

基本方針 1. 地域資源を有効活用した身延町ならではの体験・滞在型観光の推進

- 身延町が誇る歴史・文化、自然・景観、伝統産業、食等の多様な地域資源を活用し、身延町ならではの特徴的な体験・滞在価値を創出することで、他地域との差別化を図る。
- また、身延町内における滞在を促す仕組みを整えることで、観光客の滞在時間を延長し、観光消費額の拡大につなげる。

観光振興の取組の方向性①地域資源を活用した体験プログラムの充実

- * 歴史・文化資源(身延山久遠寺、湯之奥金山等)を活用した体験プログラムの充実
- * 自然・景観(しだれ桜、本栖湖等)を活用した体験プログラムの充実
- * 伝統産業(西嶋和紙、印章等)に触れる体験プログラムの充実
- * 食資源(あけぼの大豆、ゆば等)に着目した体験プログラムの充実
- * 町民等(職人、農家、自然等)との出会いに着目した体験プログラムの充実



観光振興の取組の方向性②滞在を促す仕掛けづくり

- * 朝と夜に楽しめるコンテンツの充実
- * 下部温泉における湯治の推進
- * 心身に癒しを与えるウェルネスツーリズムの推進
- * 主要観光エリア間の体験プログラムをつなぐ周遊モデルルート の提案



- ★…行政が関与・支援する取組
- ◆…行政が主導する取組

基本方針 2. 身延町の魅力・価値を定着させるためのブランドづくり・情報発信の強化

- 「心身の癒し」を与える地域資源が豊富であるという身延町の特徴を活かした地域ブランドを確立し、地域ブランドに立脚したプロモーションを展開することで、「安らぎの聖地＝身延」という認知を広く定着させる。
- 旅マエから旅アトまで様々な場面における情報発信を強化し、情報アクセシビリティを確保することで、観光客の利便性を高め、満足度の向上につなげる。

観光振興の取組の方向性①「心身の癒しを与える町」としての地域ブランドの確立

- *「心身の癒しを与える町」を表現するキャッチコピーやロゴマーク等の設定
- *キャッチコピーやロゴマーク等の使用促進 ★

観光振興の取組の方向性②旅マエ・旅ナカ・旅アトにおける情報提供の充実

- *多様な媒体(チラシ、パンフレット、Web、SNS 等)による継続的な情報発信 ★
- *案内看板の定期的な点検及び改善 ★
- *各観光施設における相互案内の強化 ★



▲身延町パンフレット



▲身延町観光課【公式】
Instagram



▲身延町観光情報 site
「みのラブ」

観光振興の取組の方向性③多言語情報発信の強化

- *情報発信媒体(チラシ、パンフレット、Web、SNS 等)の多言語化 ★
- *案内看板や音声アナウンス等の多言語化 ★



基本方針 3. 高付加価値な滞在環境の充実

- 観光客が安心・安全・快適に過ごすことができる高付加価値な滞在環境(宿泊・飲食・交通等)を整えることで、観光客の満足度を高め、リピーターによる持続的な観光需要を確保する。
- 今後、益々観光需要の拡大が期待されるインバウンドにも対応できるよう、インバウンド受入環境の整備を着実に進める。

観光振興の取組の方向性①宿泊施設の多様化・高質化

- * 既存宿泊施設の高付加価値化
- * 空き家等を活用した宿泊施設の整備
- * アウトドア施設の整備推進

観光振興の取組の方向性②飲食機能の強化

- * 飲食施設の充実
- * 特産品(あけぼの大豆、ゆば等)を活用した食メニューの開発促進



観光振興の取組の方向性③二次交通の改善

- * 町内を周遊するバス・タクシーの充実
- * 町内の道路・歩道・駐車場等の定期的な点検及び改善 ◆

観光振興の取組の方向性④地域として一体感のある街並み・景観の維持

- * 身延山門内、下部温泉、しょうにん通り等の街並み・景観の維持 ★
- * 「身延町景観計画」に基づく街並み・景観の保全ルール周知・遵守 ★



観光振興の取組の方向性⑤インバウンド受入環境の充実

- * Wi-Fi 環境の整備
- * キャッシュレス決済の導入促進

基本方針4. 地域が一体となった観光地づくりの推進体制の構築・強化

- 観光振興の実現に向けて、町民や観光関連団体・事業者、行政が相互に連携し、地域が一体となって取組を推進する体制の構築・強化を図る。
- また、地理的・歴史的関わりの深い周辺地域とも連携し、地域全体としてさらなる誘客の促進や、滞在時間の延長、観光消費額の拡大を目指す。

観光振興の取組の方向性①町民、観光関連団体・事業者、行政の観光意識の醸成

- *本ビジョンの周知 ★
- *町民向け観光体験プログラムの提供

観光振興の取組の方向性②町内の観光関連団体・事業者の相互連携体制の強化

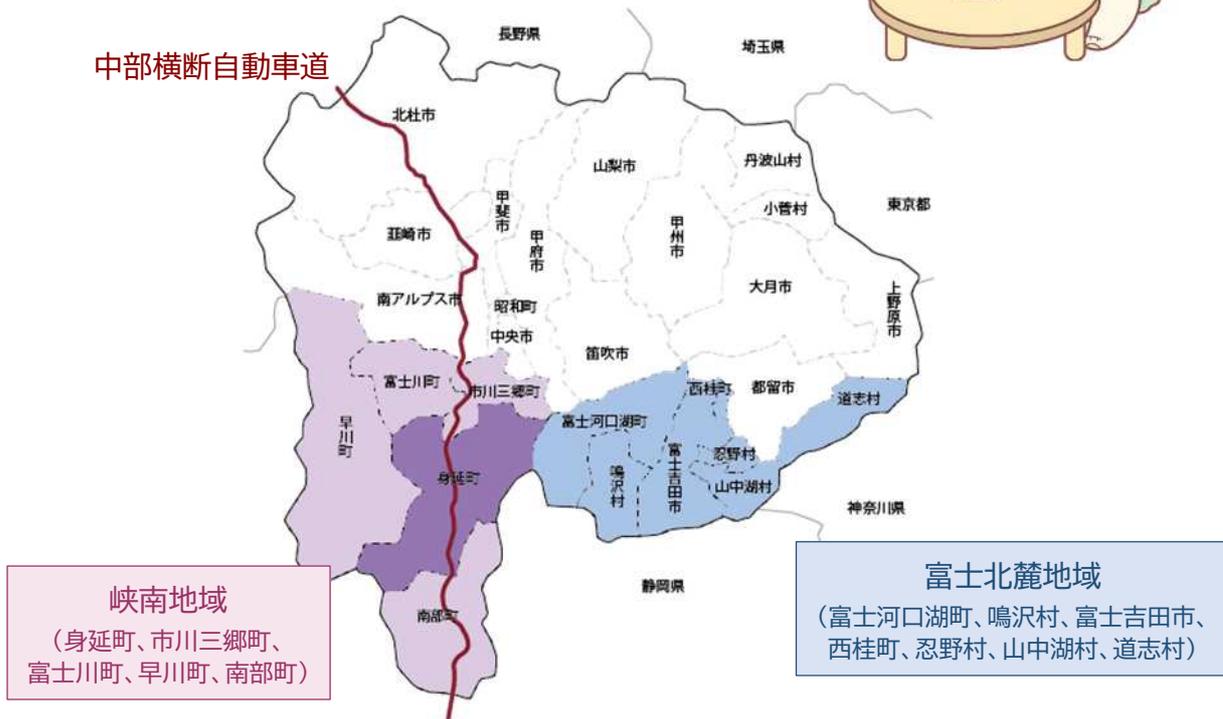
- *身延町観光協議会をはじめとした各エリアのネットワーク強化

観光振興の取組の方向性③観光人材の確保・育成

- *観光人材の育成(観光に関する勉強会・講演会の開催等) ★
- *若者や外国人の就業支援、移住定住関連施策との連携 ◆

観光振興の取組の方向性④広域連携の推進

- *峡南地域との連携強化 ★
- *富士北麓地域との連携強化 ★
- *中部横断自動車道沿線地域との連携強化 ★



基本方針 5. 将来にわたり持続可能な観光地の形成

- 観光活用による地域資源への負荷や、観光客を受け入れる事業者等の負担が少ない観光の仕組みを確立することで、地域資源が棄損したり、地域が疲弊したりすることなく持続的に発展可能な観光地を形成する。
- 地域で大切に守られてきた伝統・文化を尊重しつつ、社会情勢や自然災害等、観光を取り巻く状況の変化に柔軟に適應した観光地経営を行うことで、常に観光客に求められる観光地を目指す。

観光振興の取組の方向性①観光需要の通年化・平準化

- * 冬季の観光需要を創出するコンテンツの充実
- * 季節や曜日による価格変動制導入の促進

観光振興の取組の方向性②地域へのロイヤリティを高める仕組みづくり

- * 身延町ファンクラブの設立 ★
- * 顧客情報の共有によるマーケティングの高度化
- * リピーター向けサービスの提供

観光振興の取組の方向性③地域資源の保全を担保する仕組みづくり

- * 地域資源の保全ルールの検討 ★
- * 持続可能性に関する国際認証取得の検討 ★

観光振興の取組の方向性④観光振興に資する新たな取組に対する支援

- * 観光事業への新規参入に対する支援 ◆
- * 地域における先進的取組に対する支援 ◆

観光振興の取組の方向性⑤ニューツーリズムの推進

- * ニューツーリズムイベント等に取り組む団体との連携強化 ★



(2)取組の方向性における役割分担と実施スケジュール

▼具体的な取組内容の役割分担と実施スケジュール(1/2)

基本方針	観光振興の取組の方向性	具体的な取組内容	役割分担		スケジュール							
			民間	行政	R7	R8	R9	R10	R11			
1.地域資源を有効活用した身延町ならではの体験・滞在型観光の推進	①地域資源を活用した体験プログラムの充実	・歴史・文化資源を活用した体験プログラムの充実	●									
		・自然・景観を活用した体験プログラムの充実	●									
		・伝統産業に触れる体験プログラムの充実	●									
		・食資源に着目した体験プログラムの充実	●									
		・町民等との出会いに着目した体験プログラムの充実	●									
		・朝と夜に楽しめるコンテンツの充実	●									
		・下部温泉における湯治の推進	●									
		・心身に癒しを与えるウェルネスツアーの推進	●									
		・主要観光エリア間の体験プログラムをつなぐ周遊モデルの提案	●									
		②滞在を促す仕掛けづくり										
2.身延町の魅力・価値を定着させるためのブランドづくり・情報発信の強化	①「心身の癒しを与える町」としての地域ブランドの確立	・「心身の癒しを与える町」を表現するキャッチコピーやロゴマーク等の設定	●									
		・キャッチコピーやロゴマーク等の使用促進	●	●								
		・多様な媒体による継続的な情報発信	●	●								
		・案内看板の定期的な点検及び改善	●	●								
		・各観光施設における相互案内の強化	●	●								
		・情報発信媒体の多言語化	●	●								
		・案内看板や音声アナウンス等の多言語化	●	●								
		①宿泊施設の高付加価値化										
		3.高付加価値な滞在環境の充実	②飲食機能の強化	・既存宿泊施設の高付加価値化	●							
				・空き家等を活用した宿泊施設の整備	●							
・アウトドア施設の整備推進	●											
・飲食施設の充実	●											
・特産品を活用した食メニューの開発促進	●											
・町内を周遊するバス・タクシーの充実	●											
③二次交通の改善												
					●							

▼具体的な取組内容の役割分担と実施スケジュール(2/2)

基本方針	観光振興の取組の方向性	具体的な取組内容	役割分担		スケジュール						
			民間	行政	R7	R8	R9	R10	R11		
3.高付加価値な滞在環境の充実	④地域として一体感のある街並み・景観の維持	・身延山門内、下部温泉、しょうにん通り等の街並み・景観の維持	●	●							
		・「身延町景観計画」に基づく街並み・景観の保全	●	●							
	⑤インバウンド受入環境の充実	・Wi-Fi 環境の整備	●								
		・キャッシュレス決済の導入促進	●								
		・本ビジョンの周知	●	●							
4.地域が一体となった観光地づくりの推進 体制の構築・強化	①町民、観光関連団体・事業者、行政の観光意識の醸成	・町民向け観光体験プログラムの提供	●								
		・身延町観光協議会をはじめとした各エリアのネットワーク強化	●								
	③観光人材の確保・育成	・観光人材の育成	●	●							
		・若者や外国人の就業支援、移住定住関連施策との連携		●							
	④広域連携の推進	・峡南地域との連携強化	●	●							
		・富士北麓地域との連携強化	●	●							
	5.将来にわたり持続可能な観光地の形成	①観光需要の通年化・平準化	・中部横断自動車道沿線地域との連携強化	●	●						
			・冬季の観光需要を創出するコンテンツの充実	●							
		②地域へのロイヤリティを高める仕組みづくり	・季節や曜日による価格変動制導入の促進	●							
			・身延町ファンクラブの設立	●	●						
・顧客情報の共有によるマーケティングの高度化			●								
③地域資源の保全を担保する仕組みづくり	・リピーター向けサービスの提供	●									
	・地域資源の保全ルールの検討	●	●								
	・持続可能性に関する国際認証取得の検討	●	●								
④観光振興に資する新たな取組に対する支援	・観光事業への新規参入に対する支援		●								
	・地域における先進的取組に対する支援		●								
⑤ニューツーリズムの推進	・ニューツーリズムイベント等に取組む団体との連携強化	●	●								

第4章 推進体制と進捗管理方法

4.1 推進体制

身延町の観光振興を実現するためには、観光関連団体・事業者・行政や町民等が一体となって取組を推進する必要がある。それぞれが主体的に果たすべき役割を持って、相互に連携・協働しながら観光振興の理念・将来像の実現に向けて取組むことが重要である。

【関係主体それぞれの役割】

身延町観光協議会

- ・観光関連団体・事業者や町民、身延町との連携及び情報共有を図り、身延町観光振興ビジョンで定めた方針に則り、観光振興に向けた取組を促進する。
- ・身延町の魅力や楽しみ方に関する積極的な情報発信を行う。
- ・毎年の検証により本ビジョンの実効性を担保する。

観光関連団体・事業者

- ・身延町観光協議会や身延町と連携し、町内への誘客促進や周遊促進に向けた取組に積極的に参画する。
- ・身延町の魅力や楽しみ方に関する積極的な情報発信を行う。

身延町

- ・身延町観光協議会が身延町観光振興ビジョンに基づく取組を推進するにあたり必要な支援を適宜実施する。
- ・社会情勢の変化や多様化するニーズに対応したサービスの提供を支援するため、観光に関する情報収集や調査に努める。
- ・身延町の魅力や楽しみ方に関する積極的な情報発信を行う。

町民

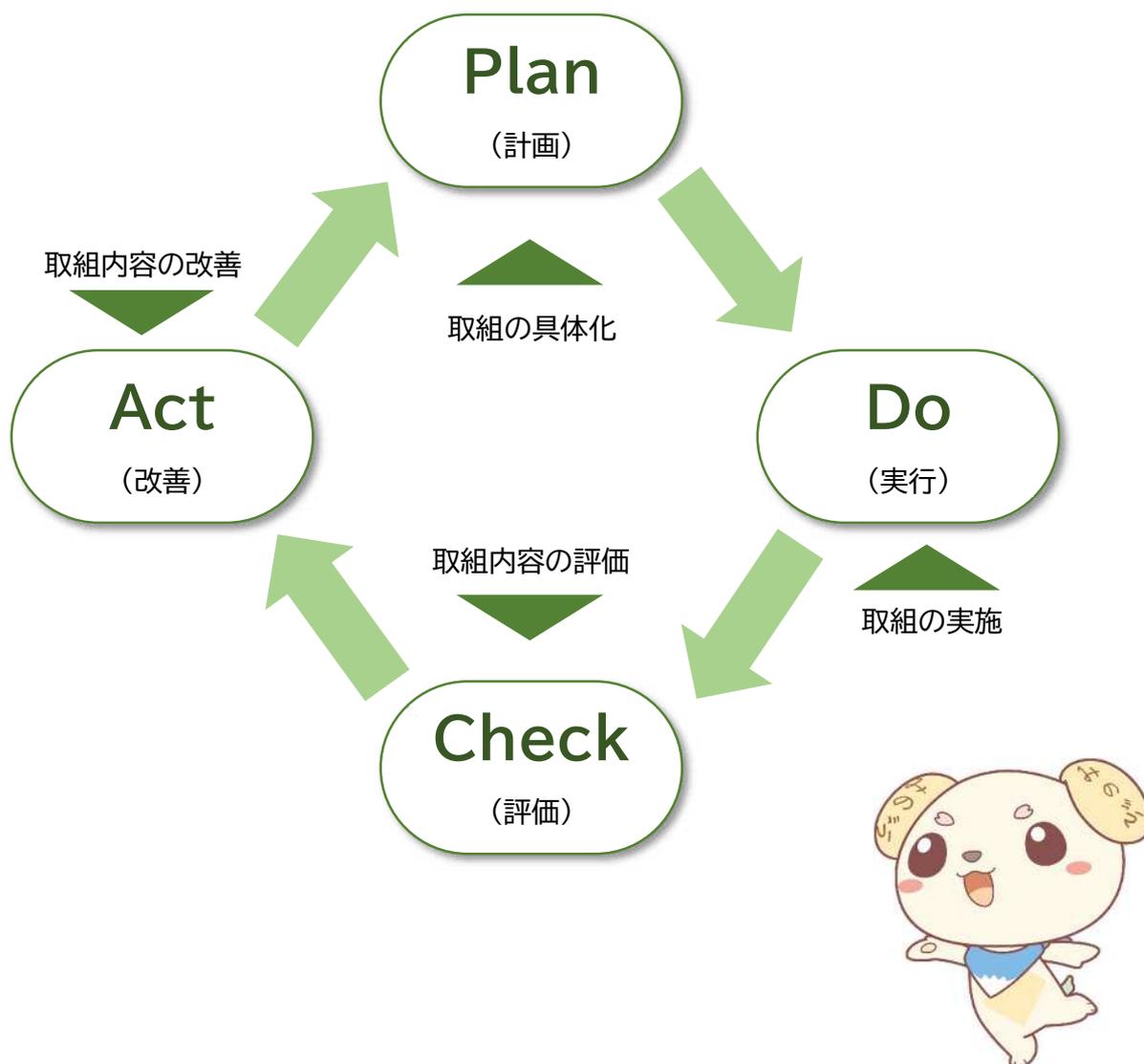
- ・身延町が目指す観光まちづくりに関心を持ち、観光振興の取組に積極的に参画する。
- ・地域の歴史文化・自然景観・伝統産業・食等の魅力的な資源に対する理解、地域への誇りや愛着を深め、おもてなしの心を持って来訪者との交流を楽しむ。



4.2 進捗管理方法

本ビジョンの有効性を担保するため、基本方針および観光振興施策の方向性に基づく取組の進捗管理を行う。毎年、身延町観光協議会が検証シートを用い取組の実施有無や実施による効果等を評価し、必要に応じて取組の改善を図る。これにより、PDCA マネジメントサイクル(計画 ⇒ 実行 ⇒ 評価 ⇒ 改善)を回し、観光振興の理念・将来像の実現に向けて着実な成果をもたらす。

【PDCA マネジメントサイクルの考え方】



【参考】身延町観光振興ビジョン策定委員会

■ 構成員団体（身延町観光協議会会員）

<ul style="list-style-type: none"> ・身延山観光協会 ・下部観光協会 ・本栖湖西部観光協会 ・身延町観光課 	<ul style="list-style-type: none"> ・身延町あけぼの大豆振興協議会 ・西嶋和紙工業協同組合 ・身延町商工会
--	---

■ 開催実績

回	開催日	討議テーマ
第1回	令和6年6月3日	・身延町観光振興ビジョン策定委員会について
第2回	令和6年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・身延町観光振興ビジョンの改定に向けて ・観光事業者等へのアンケート調査の結果 ・身延町の観光の現状と課題について ・身延町の観光振興の理念及び将来像について
第3回	令和6年10月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・身延町の観光振興の理念及び将来像について ・推進体制と進捗管理方法について
第4回	令和6年11月6日	・身延町観光振興ビジョン(素案)について
第5回	令和6年12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・身延町観光振興ビジョン(案)について ・身延町観光振興ビジョンの推進に向けた意見交換

◎令和6年7月5日～7月31日:「身延町観光振興ビジョン」改定に関するアンケート実施

◎令和6年11月13日～12月6日:「身延町観光振興ビジョン(素案)」に関する意見聴取実施

【参考】身延町の主な観光資源



あけぼの大豆



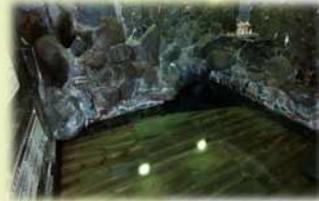
西鳴和紙



本栖湖 & 富士山絶景スポット



下部温泉郷



身延山久遠寺



このらび
身延町観光情報Site



身延町観光課【公式】
Instagram



身延町観光振興ビジョン

令和7年1月

発行 身延町観光協議会・身延町
山梨県南巨摩郡身延町梅平 2483-36
電話:0556-62-1116

